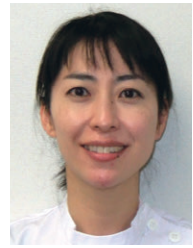


元気に暮らそう！

カラダ♪ しなやかに

元気な体は毎日の暮らしから。
いつまでもしなやかな体でいられるように、
日常生活で気軽に出来るリハビリ&ストレッチ
を、リハビリスタッフがご紹介します。



リハビリテーション室
作業療法士 高岩 亜紀子

今回は… 高次脳機能障害って知っていますか？ ～脳卒中や交通外傷で怪我をした後から以前と違う人になっ たような気がする??～

今回は聞き慣れない「高次脳機能障害」という症状について簡単にお話します。

▶▶ 高次脳機能障害とは？

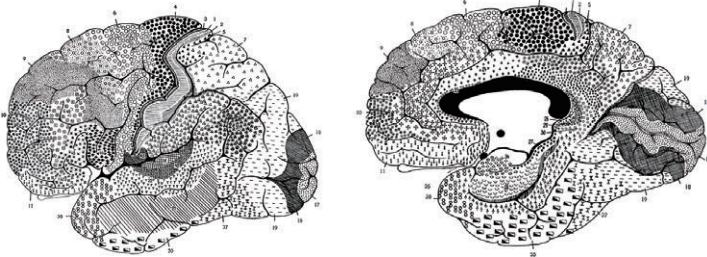
「記憶する」「集中する」「考える」「感情をコントロールする」「コミュニケーションをとる」など私たちが日常生活を過ごすために欠かせない脳の働きのことを「高次脳機能」といいます。事故、怪我、病気などで脳が損傷すると、「高次脳機能」がうまく働かなくなり、周囲の状況に合わせて適切な行動を取ることができなくなることがあります。「高次脳機能」がうまく働かず、日常生活や社会生活を送ることに支障をきたした状態のことを「高次脳機能障害」といいます。

▶▶ 脳には地図がある！？ —機能局在—

脳には地図のようなもの(局在)があり、損傷された脳細胞のその部位の症状が現れることが多いです。参考までに脳地図を載せておきます。

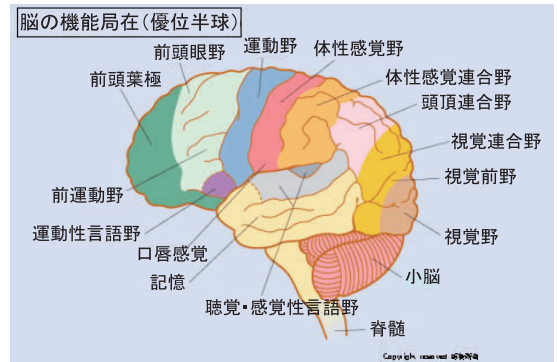
・ブロードマンの脳地図 (Brodmann, K1909より引用)

ブロードマン(Korbinian roadmann 1868 - 1918)は人の大脳皮質を詳細に調べ、層構造における神経細胞の密度や量など、厚さの違いにより、大脳皮質に50以上の番地をつけました。



・脳の機能局在 (脳神経外科疾患情報HPより)

大脳はその場所によって機能が分化しています。



▶▶ 高次脳機能障害にはどんな症状がある？

いくつか症状の例を挙げます。

- 🟢 記憶障害: 新しいことが覚えられない。過去のことを忘れる、など。
- 🟢 注意障害: 落ち着きがない、ぼーっとしている、集中できない、など。
- 🟢 遂行機能障害: 段取りよく物事を進めることが苦手、思いつきで行動しやすい、など。
- 🟢 社会的行動障害: 感情や欲求が我慢できなくなる、意欲低下、こだわりが強くなる、など。
- 🟢 失語症: 読む・聞く・話す・書くことが苦手になる、など。
- 🟢 失行: 道具の使い方や手順が分からなくなる、など。
- 🟢 病識低下: 他人からみると問題は明らかなのに、本人が病気である認識を持たない、など。

➤ 認知症との違い

「高次脳機能障害」で見られる症状は、認知症で見られる症状とよく似ているため、高次脳機能障害と認知症は混同されることがあります。以下に2つの違いを簡単に示します。

	高次脳機能障害	認知症
原因	脳卒中、脳外傷、低酸素脳症など。	脳萎縮や脳の病気や脳の損傷。 アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症など。
発症時期	発症の原因が特定しやすく、発症時期もわかりやすい。	発症時期はわかりにくい。高齢であるほど発生する可能性が高い。
症状経過	個人差はあるものの、ある一定期間、ある程度まで回復していく。	時間の経過につれて進行していく。
症状	損傷された脳に応じた症状があらわれる。	記憶障害、理解・判断力障害、集中力・作業能力低下、精神的混乱など。

➤ リハビリテーションではどんなことをしている？

- ① 脳の状態を脳画像 (MRI、CT など) で確認します。
- ② 患者さんの評価・検査をします。
 - ・テストのようなものをします。(例; 図1)
 - ・必要な動作や行動をしていただき観察します。
 - ・生活の様子を見たり、お話を聞いたりします。
- ③ 症状に合わせた訓練を行います。
 - ・ドリルのようなもの (例; 図2)
 - ・運動 (座る、歩く、軽い筋力トレーニングなど)
 - ※ 運動は脳の回復にとっても良いといわれています！
 - ・実際の生活動作 (身辺動作・家事・仕事など) の練習

図1; 図形模写テストの例

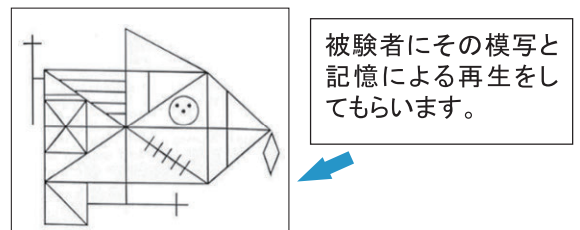


図2; 注意課題の例



➤ まとめ

高次脳機能障害は身体の運動麻痺とは違い、その本人も周囲からも分かりづらい症状です。しかし、運動麻痺と同様に脳の損傷から生じた症状であり、正しく評価し訓練すれば、ある程度回復が期待できますし、生活の質も向上します。また、高次脳機能障害の方が社会の中で生活していくためには、周囲の高次脳機能障害への理解がとても大切です。高次脳機能障害の評価や治療は医療機関や地域の福祉センターなどで行えます。「高次脳機能障害」というキーワードで調べてみてくださいね。

参考: 国立障害者リハビリテーションセンター 高次脳機能障害情報・支援センターHP
政府広報オンラインHP